



第48回日本血液浄化技術学会学術大会・総会
ランチョンセミナー5 (LS-5)

高齢透析患者に対して 取り組むべき課題と対策

日時

2022年4月24日[日] 12:00-13:00

会場

第2会場 札幌市教育文化会館1階小ホール

司会

大澤 貞利 先生 釧路泌尿器科クリニック

演者

長尾 尋智 先生 メディカルサテライト岩倉/
中部大学臨床工学実習センター

セミナーテーマ

高齢透析患者に対して取り組むべき課題と対策

メディカルサテライト岩倉
中部大学臨床工学実習センター
長尾 尋智

直近の日本透析医学会統計調査によると、70歳以上の高齢透析患者は全体の過半数を占め、サルコペニアやMIA (malnutrition, inflammation and atherosclerosis) 症候群を抱える低栄養患者、あるいは、透析中の血圧維持が難しい症例が増えつつあることが伺える。このような高齢透析患者に対して、どのような透析治療条件がよいのか、また客観的な評価法があるのか、といった相談もしばしば受けるようになった。

高齢透析患者の低栄養課題については、たんぱく摂取と炎症抑制が重要であり、併せて、透析によるアミノ酸やカルニチンなどの小分子栄養素のロスも考慮した透析条件を選択すべきと考える。また、血圧維持に対しては、I-HDF (間歇補液型HDF) やオンラインHDFといった透析モダリティーも視野に入れた至適条件を検討すべきであろう。

今回、新たに東レ社より発売開始されたPMMA膜HDFフィルターは、高齢透析患者の治療に適応した製品であることが期待される。これまで培ってきた実臨床におけるモニタリング技術の活用例と共に、この膜の可能性について考察したい。